



Wa!



発行 医療法人真正会 埼玉県川越市安比奈新田 283-1
企画編集 広報誌編集企画チーム 編集長 長谷川 均
ホームページアドレス <http://www.kasumi-gr.com/>
メールアドレス info@kasumi-gr.com

発刊にあたって



理事長 齊藤正身

しばらくお休みをしていましたが、広報誌「Wa!」が誌面も新たに再発行することになりました。手に手をとる「輪」、みんなの「和」、そして喜び・感動の「わあ!」を「Wa!」と表現した名称です。医療法人真正会が、地域の皆様にできる限りわかりやすく、お役に立つ情報をお伝えすることに主眼を置いていきたいと思っています。

昭和47年に霞ヶ関中央病院を開設以来、地域の皆様のニーズにお応えし、川鶴診療所、霞ヶ関南病院、訪問看護ステーション「スマイル」、トレーニングセンター「SKIP」等をほぼ5年おきに開設してまいりました。

一昨年の12月には、姉妹法人の特別養護老人ホーム真寿園が安比奈新田に移り、開設当初の夢であった医療と福祉の総合的なサービス提供ができる体制がとれました。まだまだサービスの質を向上させる努力が必要ではありますが、今後ともよろしくお願いいたします。

「Wa!」では、当法人のサービスのご紹介や各種イベントへのお誘い等にとどまらず、保健・医療・福祉に関するお役に立つ情報等も盛り込んでいく予定です。今号では、当法人の特色である「リハビリテーション」に関する情報をまとめてみました。ご一読いただき、お役に立てば幸いです。

電ヶ関南病院 リハビリテーションのご紹介

埼玉県内でも有数のリハビリテーション施設として、リハビリ室でのトレーニングに加え、病棟内や屋外など病院全体で退院後の生活を見据えたリハビリテーションをご提供します。

5つ(リハビリ専門医、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、レクリエーションワーカー)のリハ専門職だけでなく、下表にお示しするような全ての職種が、病棟を中心としたチームをつくり、最新の環境で、社会復帰を目指したリハビリに取り組んでいます。

トレーニングは個別形式のものだけでなく、お体の状態や目標にあわせ、担当者チームで検討しながら進めさせていただきます。進み具合によって、退院後に備えご自分でトレーニングに取り組んでいただけるような形へと、徐々に移行します。

各病棟スタッフ配置(病棟チームの構成メンバー数;約40床あたり)

職種	回復期	療養型	職種	回復期	療養型
医師	1	1	理学療法士(PT)	4	2
看護師	14	11	作業療法士(OT)	4.5	3
ケアワーカー	7	11	言語聴覚士(ST)	2.5	2
医療福祉相談員	1	1	レクリエーションワーカー(RW)	0	3
管理栄養士	1	1	病棟クラーク	1	1
薬剤師	1	1	クリーンワーカー	1	1

OT ; Occupational Therapist PT ; Physical Therapist ST ; Speech Therapist RW ; Recreation Worker

Question



Q1;入院したら、どんな日程でどんなリハビリをするの？

Q2; 集中的にリハビリを行うというのは、それだけスタッフがいるのですか？



総合リハビリテーションセンター



退院後の生活(ご自宅・施設)を見据え、退院後の生活に必要であろう様々な動作や行為などについて、リハビリ室だけでなく、病棟内やADL(日常生活活動)シミュレーション装置の活用、屋外活動なども取り入れた実用的なりハビリを行っています。

A1;入院後の家族説明会で今後のリハの進行についてご説明いたします。病棟では基本的な動作や各種生活行為の練習をし、リハビリ室で身体機能や体力の改善、退院に必要な様々なことを練習します。

A2;当法人全体で94名のリハ専門職が勤務しており、埼玉県下でも有数のリハ提供体制となっております。

Answer



また、病棟スタッフやレクリエーションワーカーとの様々な趣味活動やイベントを通し、潤いある入院生活を送っていただくよう取り組んでいます。

倶楽部活動・教室・映画会・コンサートなど、単なる趣味的活動ではなく、より本格的な活動も提供しています。生きがいの発見や気分転換など、退院後にも続けていただける活動を意識して取り組んでいます。

おはりこ倶楽部



書道倶楽部



休日のレク
ご家族と参加



ミニレクチャーコーナー

このコーナーでは、院内の各専門職が国の制度や病院のシステムをわかり易く解説いたします。第一回目は医療福祉相談部より「回復期リハビリテーション病棟」をご紹介します。



当院には、4病棟 158床の回復期リハビリの専用病床があります。回復期とは、厚生労働省の指定する病気等（下図）で、病状が落ち着き始め安静が必要でなくなった状態で、発症から3ヶ月以内から症状が固定するまでの期間を指します。この時期では集中的なリハビリがとても効果的といわれています。



回復期リハビリテーション病棟に該当する疾病

脳血管疾患や脊髄損傷の発症後3ヶ月以内
大腿骨頸部骨折、下肢、骨盤等の骨折受傷後3ヶ月以内
外科手術、肺炎等治療時の安静により生じた廃用症候群を有し、手術後または発症後3ヶ月以内
上記 から に準ずる状態（医師が医学的に判断し、準ずると考えられる状態）

日本経済新聞（H16.10.03付）に「霞ヶ関南病院」が掲載されました

リハビリ病院を選ぶポイント

（H16.10.03 日本経済新聞掲載）

病棟でのリハビリが充実しているか
理学療法士らのリハビリを週7日受けられるか
医療福祉相談員や臨床心理士がいるか
自宅復帰率が高いか
常勤のリハビリ専門医がいるか

理学療法士、作業療法士のリハビリを1日何時間受けられるか
厚労省の「総合リハビリテーション施設」が在宅サービスがあるか
治療成績を公開しているか

（霞ヶ関南病院ではこれらの様々な条件をクリアしています。）

全国主な回復期リハビリテーション病棟を持つ病院

（H16.10.03 日本経済新聞から抜粋）

病院名 （所在地）	病床数	自宅復帰	スタッフ数（人）					特徴
			医師	看護	理学	作業	言語	
霞ヶ関南病院 （埼玉県川越市）	158	72	2	59	18	18	11	地域に根差した総合的リハビリサービス。治療成績公開にも積極的。

（注）「自宅復帰」は自宅復帰率（%）。「医師」はリハビリテーション専門医、「看護」は看護師（正、准の合計）。「理学」は理学療法士、「作業」は作業療法士、「言語」は言語聴覚士。いずれも回復期リハビリテーション病棟分。上記病院は「総合リハビリテーション施設」

「回復期リハビリテーション病棟」制度については詳しくは

『全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会』 <http://www.rehabili.jp/> へ

10月・11月の教室

サプリメント教室

テーマ：「正しいサプリメントの選び方」

日時：平成16年10月23日(土)
11:00~12:00迄
場所：霞ヶ関南病院 小ホール
講師：山辺 美千子
(医療法人真正会 薬局長)
費用：¥300-(税込み)

転倒骨折予防教室

テーマ：「転倒予防の正しい基礎知識」~転倒予防Q&A~

日時：平成16年10月27日(水)
15:30~16:30迄
場所：霞ヶ関南病院 小ホール
講師：丹羽 敦史(理学療法士)
費用：¥500-(税込み)

糖尿病教室

テーマ：「秋のお食事会」

日時：平成16年10月30日(土)
12:00~13:00迄
場所：霞ヶ関南病院
オールウェイズ
講師：松本 博
(霞ヶ関中央病院
糖尿病担当医)
前田 薫(管理栄養士)
費用：¥1200-
(食事代・税込み)

痴呆研修会

テーマ：「脳の老化と痴呆」
~其の4~

日時：平成16年11月2日(火)
12:30~13:30迄
場所：霞ヶ関南病院 小ホール
講師：清水 忠行
(ケアラウンジ南大塚
所長)
費用：¥500-(税込み)

皮膚科教室

テーマ：「冬のスキンケア」
~日頃のお手入れでカサツキ・
かゆみをおさえましょう~

日時：平成16年11月9日(火)
12:30~13:15迄
場所：霞ヶ関南病院 小ホール
講師：太田 房代
(霞ヶ関中央病院皮膚科
外来医)
費用：¥500-(食事代・税込み)

パソコン教室

テーマ：「初心者のための
パソコン講座」
~パソコンで作ろう！年賀状~

日時：平成16年11月24日(水)
15:00~17:00迄
場所：SKIPトレーニング
センター 2階図書室
講師：田村 茂
(医)真正会 情報管理室)
古澤 悠宜
(医)真正会 経営管理課)
費用：¥500-(税込み)
定員：10名 ノートPCを持参できる方に限らせて頂きます。

予約・お問合せについて

各教室の予約・お問合せは、各病院受付窓口、またはお電話でも承っております。お気軽にお問合せ下さい。どなたでもご参加できます。

霞ヶ関南病院 TEL049-232-1313
川鶴診療所 TEL049-233-2155

霞ヶ関中央病院 TEL049-231-5121

イベント情報

地域感謝祭ふれあい広場 開催！

恒例となりました『地域感謝祭 ふれあい広場』を下記の日程にて開催いたします。
楽しいイベントや模擬店で秋の休日のひと時をお過ごし下さい！！
皆様のご来場を心よりお待ちしております！！

日時：11月13日(土) 12:00~15:00
場所：(社福)真寿会 特別養護老人ホーム 真寿園

(霞ヶ関南病院の隣りです)

お車でご来場の際は、霞ヶ関南病院の駐車場をご利用くださいませ

恒例!



編集後記

広報誌「WA!」が復活しました。医療・福祉の世界では、今、さかんに「情報開示」が言われています。情報開示とは、病院の取り組みや内容を地域の方々に知って頂くことだと思えます。この広報紙を通して医療法人真正会の取り組みや各種サービス、イベント等をご紹介させて頂き、すこしでも皆様のお役に立てれば幸いです。(長谷川)